

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人帝塚山学院

(2) 大学名

帝塚山学院大学

(3) 大学の位置

〒589-8585

大阪府大阪狭山市今熊2-1823

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシカワ アキラ) 石川 啓 (平成19年10月)	(ノムラ マサアキ) 野村 正朗 (平成27年7月)	平成27年7月1日 任期途中辞任に伴う交代 (28)
学長	(ツダ キンスケ) 津田 謹輔 (平成26年4月)		
学部長	(マツモト アキラ) 松本 章 (平成27年4月)	(ミヤタケ カズタカ) 宮武 和孝 (平成27年4月)	任期満了に伴う交代 (27)
学科長等	(ミゾテ マリ) 溝手 真理 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間科学部 キャリア英語学科 学士(キャリア英語)	4年	50人	— 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50人 () []	— () []	50人 () []	— () []	0.46倍							
志願者数	56 () []	— () []	73 () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []		
受験者数	52 () []	— () []	69 () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []		
合格者数	42 () []	— () []	57 () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []		
B 入学者数	22 () []	— () []	24 () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []		
入学定員超過率 B/A	0.44		0.48									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] (-) 22	—	[-] (-) 24	—	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
2年次	/		[-] (-) 21	—	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
3年次			/		[] ()					
4年次					/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[-] (-) 22	[-] (-) 45			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	22 人	1 人	平成27年度	1 人	— 人	・経済的理由	4.5 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	24 人	0 人	平成28年度	人	人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	— 人	0 人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	— 人	0 人	平成30年度	人	人		%
合 計	46 人	1 人					2.2 %

(注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間科学部 キャリア英語学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
人間科学部 【共通科目】	大学基礎講座	1前	2			1 2						時間割編成上の理由により教員を変更(28)		
	文章表現講座Ⅰ	1前 1通	1 2									兼2 通年配当であった文章表現講座Ⅰを文章表現講座Ⅰ(1前)・Ⅱ(1後)に分割し半期科目とした。単位数も2→1に変更		
	文章表現講座Ⅱ	1後 2通	1 2									兼2 通年科目であった文章表現講座Ⅱを文章表現講座Ⅲ(2前)・Ⅳ(2後)に分割し半期科目として新規開講した。単位数も2→1に変更(27)		
	文章表現講座Ⅲ	2前		2								兼1		
	文章表現講座Ⅳ	2後		2								兼1		
	人間と文化A	未開講 1後		2									兼1	
	人間と文化B	1前後		2									兼1	
	人間と文化C	1後 1前		2		1							兼1	教育効果向上のため配当時期の変更(28)
	人間と文化D	未開講 1前		2									兼1	人間と文化A～Fの科目内容を見直した結果、人間と文化B、C、Eに集約したため、A、D、Fは未開講とした(27)
	人間と文化E	1前後 未開講		2									兼1	
	人間と文化F	1後		2									兼1	
	哲学	1前後		2									兼1	
	宗教学A	1前		2									兼1	科目名称の統一化を図るため科目名を変更(27)
	宗教学1	1後		2									兼1	科目名称の統一化を図るため科目名を変更(27)
	宗教学B	1前後		2									兼1	
	宗教学2	1後		2									兼1	共通科目カリキュラム見直しのため配当時期の変更(28)
	文化と歴史(日本)	1前後		2									兼1	
	文化と歴史(アジア)	1後 1前後		2									兼1	共通科目カリキュラム見直しのため配当時期の変更(28)
	大阪学	1前 1前後		2									兼2 兼1	担当教員を2名のオムニバス科目とし、配当時期を前期のみに変更(27)
	考古学	1前 1前後		2									兼1	共通科目カリキュラム見直しのため配当時期の変更(28)
	民俗学	1後		2									兼1	
	言語学概論	1後		2									兼1	
	日本の近代文学	1前		2									兼1	
	日本の古典文学	1前		2									兼1	
	外国の文学	1前		2			1		1				兼1	河崎良二教授退任に伴う担当者変更(28)
	世界の児童文学	1前 1前後		2			1 2						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため配当時期の変更(28) 河崎良二教授退任に伴う担当者変更(28)
	日本の児童文学	1前 1後		2									兼1	共通科目カリキュラム見直しのため配当時期の変更(28)
芸術鑑賞入門	1後		2									兼1		
スケッチ入門	1後		2									兼1		
デッサン入門	1前		2									兼1		
日本国憲法	1前		2									兼2		
法学	1後		2									兼1		
著作権概論	1前 1後		2									兼1	共通科目カリキュラム見直しのため配当時期の変更(27)	

人間科学部 【共通科目】	社会	政治学	未開講 1前後	2					兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 開講せず(28)	
		大阪産業論	未開講 1前	2	1						共通科目カリキュラム見直しのため 開講せず(27)
		大阪の食文化論	1前 1後	2						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 配当時期の変更(27)
		職業選択論	未開講 1前	2						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 開講せず(27)
		経済と経営	1前後	2						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 配当時期の変更(27)
		社会学	1前後	2						兼1	
		ジェンダー論	1前 1前後	2						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 配当時期の変更(27)
		公共サービス論	未開講 1後	2						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 開講せず(28)
		人権論	1後	2						兼1	
		国際機構と世界	1後	2						兼1	
		メディアリテラシー	1前	2						兼1	
		マスコミュニケーション概論	1前 1後	2						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 配当時期の変更(27)
		現代を読むⅠ	1後 1前	2						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 配当時期の変更(27)
		現代を読むⅡ	未開講 1後	2						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 開講せず(27)
		図書館概論	1前	2	1						
図書館情報資源概論	1後	2	1								
自然	心理学	1前後	2						兼1		
	生命科学与倫理	1後	2						兼1		
	人間と環境	1前	2						兼1		
	基礎化学	1前	2						兼1		
	化学	1前後	2						兼1		
	基礎生物学	1前	2						兼1		
	生物学	1前後	2						兼1		
	基礎数学Ⅰ	1前	2						兼1		
	基礎数学Ⅱ	1後	2						兼1		
	応用数学	未開講 1前	2						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 開講せず(28)	
	色彩学入門	1前後	2						兼1		
健康管理	健康スポーツ学A	1前	1						兼2		
	健康スポーツ学B	1後	1						兼2		
	健康スポーツ学C	1後	1						兼1		
	健康スポーツ学D	1前	1						兼1		
	健康スポーツ学E	1前	1						兼1		
	健康スポーツ学F	未開講 1前後	1						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 開講せず(28)	
	スポーツ学A	2前	1						兼1		
	スポーツ学B	2後	1						兼1		
	スポーツ学C	2前	1						兼1		
	スポーツ学D	2後	1						兼1		
	スポーツ学E	2前	1						兼1		
スポーツ学F	2後	1						兼1			
基礎医学	1前	2						兼1			
健康管理学	1前後	2						兼2			
キャリア開発	キャリア入門	1前後 1後	2		1				兼1	教育効果向上のため、前期に1クラス追加開講。伴い教員増(27)	
	キャリア基礎Ⅰ	2前	2						兼1		
	キャリア基礎Ⅱ	2前後 2後	2		1				兼1	共通科目カリキュラム見直しのため 配当時期の変更(28)	
	キャリア実践	3・4前後	2						兼1	教育効果向上のため専任教員が担当 (28)	
	学校インターンシップ	2前後	2						兼1		

人間科学部【共通科目】

	インターンシップ	2前後	2	1					
キャンパス	Off-Campus Studies A	1通	1						兼1
	Off-Campus Studies B	1通	1						兼1
	Off-Campus Studies C	1通	1						兼1
	Off-Campus Studies D	1通	1						兼1
外国語	初級英語 A1	1前	1	1					兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28)
	初級英語 A2	1後	1	1					兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28)
	初級英語 B1	1前	1			1			兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28)
	初級英語 B2	1後	1			1			兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28)
	初級英語 C1	1前	1						兼1
	初級英語 C2	1後	1						兼1
	初級英語 D1	1前	1						兼1
	初級英語 D2	1後	1						兼1
	中級英語 A1	1前	1						兼1
	中級英語 A2	1後	1						兼1
	中級英語 B1	1前	1		1				兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28)
	中級英語 B2	1後	1		1				兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28)
	中級英語 C1	1前	1		+				兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28)
	中級英語 C2	1後	1		+				兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28)
	中級英語 D1	1前	1						兼1
	中級英語 D2	1後	1						兼1
	English Language Skills 中級1	1前	1						兼1
	English Language Skills 中級2	1後	1						兼1
	TOEIC 中級1	1前	1		1		+		兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28)
	TOEIC 中級2	1後	1		1		+		兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28)
	準上級英語A1	未開講 1前	1						兼1 共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28)
	準上級英語A2	未開講 1後	1						兼1 共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28)
	準上級英語B1	未開講 1前	1						兼1 共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28)
	準上級英語B2	未開講 1後	1						兼1 共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28)
	English Language Skills 準上級1	未開講 1前	1						兼1 共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28)
	English Language Skills 準上級2	未開講 1後	1						兼1 共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28)
	TOEIC 準上級1	未開講 1前	1				1		兼1 共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28) 時間割編成上の理由により教員を変更(27)
	TOEIC 準上級2	未開講 1後	1				1		兼1 共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28) 時間割編成上の理由により教員を変更(27)
	上級英語 A1	1前	1				+		兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28) Peter Dupenthaler教授退任に伴う担当者変更(27)
	上級英語 A2	1後	1				+		兼1 時間割編成上の理由により教員を変更(28) Peter Dupenthaler教授退任に伴う担当者変更(27)

		上級英語 B1	1前	1		+			兼1	時間割編成上の理由により教員を変更 (28)
		上級英語 B2	1後	1		+			兼1	時間割編成上の理由により教員を変更 (28)
		上級英語 C1	1前	1		+			兼1	時間割編成上の理由により教員を変更 (27)
		上級英語 C2	1後	1		+			兼1	Peter Duppenhaler教授退任に伴う担当者変更 (27)
		上級英語 D1	1前	1		+			兼1	時間割編成上の理由により教員を変更 (28)
		上級英語 D2	1後	1		+			兼1	時間割編成上の理由により教員を変更 (27)
		ドイツ語 I A1	1前	1					兼1	
		ドイツ語 I A2	1後	1					兼1	
		ドイツ語 I B1	1前	1					兼1	
		ドイツ語 I B2	1後	1					兼1	
		ドイツ語 II A1	2前	1					兼1	時間割編成上の理由により教員を変更 (28)
		ドイツ語 II A2	2後	1					兼1	時間割編成上の理由により教員を変更 (28)
		ドイツ語 II B1	2前	1					兼1	
		ドイツ語 II B2	2後	1					兼1	
		ドイツ語 III (研究)	3・4前	2					兼1	
		ドイツ語 IV (研究)	3・4後	2					兼1	
		フランス語 I A1	1前	1					兼1	
		フランス語 I A2	1後	1					兼1	
		フランス語 I B1	1前	1					兼1	
		フランス語 I B2	1後	1					兼1	
		フランス語 II A1	2前	1					兼1	
		フランス語 II A2	2後	1					兼1	
		フランス語 II B1	2前	1					兼1	
		フランス語 II B2	2後	1					兼1	
		教養フランス語A1	未開講 2前	1					兼1	共通科目カリキュラム見直しのため開講せず (28)
		教養フランス語A2	未開講 2後	1					兼1	共通科目カリキュラム見直しのため開講せず (28)
		教養フランス語B1	未開講 2前	1					兼1	共通科目カリキュラム見直しのため開講せず (28)
		教養フランス語B2	未開講 2後	1					兼1	共通科目カリキュラム見直しのため開講せず (28)
		フランス語 III (研究)	3・4前	2					兼1	
		フランス語 IV (研究)	3・4後	2					兼1	
		フランス語 V (研究)	3・4前	2					兼1	
		フランス語 VI (研究)	3・4後	2					兼1	
		中国語 I A1	1前	1					兼1	
		中国語 I A2	1後	1					兼1	
		中国語 I B1	1前	1					兼1	
		中国語 I B2	1後	1					兼1	
		中国語 II A1	2前	1					兼1	
		中国語 II A2	2後	1					兼1	
		中国語 II B1	2前	1		1			兼1	
		中国語 II B2	2後	1		1			兼1	
		中国語 III (研究)	3・4前	2		1			兼1	
		中国語 IV (研究)	3・4後	2		1			兼1	
		中国語 V (研究)	3・4前	2		1			兼1	
		中国語 VI (研究)	3・4後	2		1			兼1	
		資格中国語 I	1前	1					兼1	
		資格中国語 II	1後	1		1			兼1	時間割編成上の理由により教員を変更 (28)

人間科学部【共通科目】

外国語

		資格中国語Ⅲ	1前	1		+				兼1	時間割編成上の理由により教員を変更(28)
		資格中国語Ⅳ	1後	1		+				兼1	時間割編成上の理由により教員を変更(28)
		韓国語ⅠA1	1前	1						兼1	
		韓国語ⅠA2	1後	1						兼1	
		韓国語ⅠB1	1前	1						兼1	
		韓国語ⅠB2	1後	1						兼1	
		韓国語ⅡA1	2前	1						兼1	
		韓国語ⅡA2	2後	1						兼1	
		韓国語ⅡB1	2前	1						兼1	
		韓国語ⅡB2	2後	1						兼1	
		韓国語Ⅲ(研究)	3・4前	2						兼1	
		韓国語Ⅳ(研究)	3・4後	2						兼1	
		韓国語Ⅴ(研究)	3・4前	2						兼1	
		韓国語Ⅵ(研究)	3・4後	2						兼1	
		資格韓国語Ⅰ	2前	1						兼1	
		資格韓国語Ⅱ	2後	1						兼1	
人間科学部【共通科目】	情報処理	情報活用基礎A	1前後	1						兼2	
		情報機器の操作A	1前後	1						兼1	
		情報活用基礎B	1前後	1						兼2	
		情報機器の操作B	1前後	1						兼1	
		情報活用A	1後	1						兼1	
		情報活用B	1後	1						兼1	
		情報活用C	1後	1						兼1	
		情報活用D	2前	1						兼1	
		情報活用E	1後	1						兼1	
		情報活用F	未開講 4後	1						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28)
		情報活用G	1後	1						兼1	
情報活用H	未開講 2前	1						兼1	共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28)		
人間科学部【特別科目】	特別講座・ 特別活動	特別講座A	未開講 4前	2		1					共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(27)
		特別講座B	未開講 4後	2		1					共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(27)
		特別講座C	未開講 2前	2		1					共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28)
		特別講座D	未開講 2後	2		1					共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(28)
		教育基礎演習A	2前 2後	1 2						兼1	教育基礎演習Aを教育基礎演習A(2前)とB(2後)に分割し、単位数も2→1に変更(28)
		教育基礎演習B	2後 3前	1 2						兼1	教育基礎演習Bを教育基礎演習C(3前)とD(3後)に分割し、単位数も2→1に変更(28)
		教育基礎演習C	3前	1						兼1	
		教育基礎演習D	3後	1						兼1	
		人間科学フィールドワークA	未開講 4後	2		1					共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(27)
	人間科学フィールドワークB	未開講 4後	2		1					共通科目カリキュラム見直しのため開講せず(27)	
	現地研修	現地研修A	1後	2						兼1	
		現地研修B	1後	2						兼1	
		現地研修C	1後	2						兼1	
		現地研修D	1後	2						兼1	
現地研修E		1後	2						兼1		
現地研修F		1後	2						兼1		
		Intensive Practical English A1	1前	2		2	+	1		兼3	近藤睦美准教授退任に伴う担当者変更(28)
		Intensive Practical English A2	1後	2		2	+	1		兼3	通年配当を前期・後期配当に分割(27)

キャリア英語学科専門科目	基礎科目	Intensive Practical English A	1通	4			2	1					兼2	小林Jeanette Marie教授退任に伴う担当者変更(28) 通年配当を前期・後期配当に分割 教育効果向上のため専任教員を1名増(27)	
		Intensive Practical English B1	1前	2			+	1							兼1
		Intensive Practical English B2	1後	2			+	2							兼2
		Intensive Practical English B	1通	4			+	2	+						兼1
		Intensive Practical English C	1前	1				1							兼1
		Intensive Practical English D	1後	1				1	+						兼1
		Introduction to Career English A1	2前	2				2	+		1				兼2
		Introduction to Career English A2	2後	2				1							兼1
		Introduction to Career English A	2通	4				2	+						兼2
		Introduction to Career English B1	2前	2				2		1					兼1
		Introduction to Career English B2	2後	2				2		1					兼1
		Introduction to Career English B	2通	4				2		1					兼2
		Introduction to Career English C	2前	1				+		+					兼2
		English for Specific Purpose (Tourism and Hospitality)	2後		1			+		1					
	基礎科目	英語資格講座A	1前	1				3	+		1			兼1	時間割編成上の理由により教員を変更(28)
		英語資格講座B	1後	1				1	+					兼1	時間割編成上の理由により教員を変更(28)
		英語資格講座C	2前	1				1	+					兼1	時間割編成上の理由により教員を変更(28)
		英語資格講座D	2後	1				1	+					兼1	時間割編成上の理由により教員を変更(28)
		Project-based EnglishA	2後		1			1						兼1	近藤睦美准教授退任に伴う担当者変更(28)
		Project-based EnglishB	3前		1			1						兼1	近藤睦美准教授退任に伴う担当者変更(28)
グローバルイングリッシュ		短期英語研修	1後		2			2	+					兼1	近藤睦美准教授退任に伴う担当者変更(28)
		留学準備講座(英語圏)	2前		2			+		1				兼1	近藤睦美准教授退任に伴う担当者変更(28)
基幹科目		社会で働く	1後		2			1						兼1	教育効果向上のため配当時期の変更(27)
		現代産業論 I	1前		2			1						兼1	教育効果向上のため配当時期の変更(27)
	2後			2			1						兼1	教育効果向上のため配当時期の変更(27)	
	現代産業論 II	1後		2			1						兼1	教育効果向上のため配当時期の変更(27)	
		1前		2			1						兼1	教育効果向上のため配当時期の変更(27)	
	生活設計論	2後		2			1						兼1	教育効果向上のため配当時期の変更(27)	
	ホスピタリティ入門	1前		2			1						兼1	教育効果向上のため配当時期の変更(27)	
	ビジネスマナー入門	2前		2			1						兼1	教育効果向上のため配当時期の変更(27)	
情報調査法	1後		2			1						兼1	教育効果向上のため配当時期の変更(27)		

		ビジネス情報調査法 労働法基礎	2前 2後	2	2	1					兼 1		
キャリア英語学科専門科目	展開科目	サービスビジネス概論	3前 2前		2	1						教育効果向上のため配当時期の変更 (28)	
		エアラインサービスビジネス論	2前 2後		2						兼 1	教育効果向上のため配当時期の変更 (28)	
		観光サービスビジネス	2前 2後		2		+				兼 1	教育効果向上のため配当時期の変更 (28) 時間割編成上の理由により教員を変更 (28)	
		総合観光マネジメント論	3前		2						兼 1		
		グローバルビジネス研究	3前 2前		2		1				兼 1	教育効果向上のため配当時期の変更 (28)	
		通商政策論	3後		2						兼 1		
		国際貿易概論	2前 2後		2		1				兼 1	教育効果向上のため配当時期の変更 (28)	
		マーケティング論	3後 2後		2						兼 1	教育効果向上のため配当時期の変更 (28)	
		国際ビジネス論	2前		2						兼 1		
		ビジネスプレゼンテーション	3後		2		1						
	ビジネスコミュニケーション	2前		2		1							
	Career English Skills A	3前		2		2	2						
	Career English Skills B	3後		2		2	2						
	English Presentation	3前		2		2	1						
	English Discussion	3後		2		2	1						
	教育キャリア系	イギリス文学史	2後		2		1						
		アメリカ文学史	2前		2							兼 1	
		英語学基礎	2前		2		1						
		英語学応用	2後		2		1						
		異文化理解論(英語圏)A	2前		2		1						
異文化理解論(英語圏)B		2後		2							兼 1		
イギリス文学特講		3後		2		2					兼 1		
アメリカ文学特講		3前		2							兼 1		
英語教育学研究		3前		2			1					文部科学省教職課程認定委員会の指 摘により科目名称変更(27)	
英語学研究		3前		2							兼 1		
英語能力測定・評価論	3後		2							兼 1			
早期英語教育論	3前		2		1								
英語カリキュラム・教材研究	3後		2			1							
英語教育実践論	4前		2							兼 1			
ICTと英語教育	2後		2							兼 1	近藤睦美准教授退任に伴う担当者変 更(28)		
上級英語資格講座A	3前		2		2								
上級英語資格講座B	3後		2		2	1							
演習科目	演習A	3通	2			2	1						
	演習B	4通	2			2	1						
	卒業研究	4通		4		2	1						

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 26	科目 232	科目 —	科目 258	科目 31 [5]	科目 235 [3]	科目 — []	科目 266 [8]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	人間と文化A	2	1後	一般	選択	6クラスを3クラスに集約したため(27)
2	人間と文化D	2	1前	一般	選択	6クラスを3クラスに集約したため(27)
3	人間と文化F	2	1後	一般	選択	6クラスを3クラスに集約したため(27)
4	大阪産業論	2	1前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(27)
5	職業選択論	2	1前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(27)
6	現代を読むⅡ	2	1後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(27)
7	特別講座A	2	1前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(27)
8	特別講座B	2	1後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(27)
9	人間科学フィールドワークA	2	1後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(27)
10	人間科学フィールドワークA	2	1後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(27)
11	政治学	2	1前後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
12	公共サービス論	2	1後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
13	応用数学	2	1前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
14	健康スポーツ学F	1	1前後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
15	準上級英語A1	1	1前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
16	準上級英語A2	1	1後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
17	準上級英語B1	1	1前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
18	準上級英語B2	1	1後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
19	English Language Skills 準上級1	1	1前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
20	English Language Skills 準上級2	1	1後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
21	TOEIC 準上級1	1	1前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
22	TOEIC 準上級2	1	1後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
23	教養フランス語A1	1	2前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
24	教養フランス語A2	1	2後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
25	教養フランス語B1	1	2前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
26	教養フランス語B2	1	2後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
27	情報活用F	1	1後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
28	情報活用H	1	2前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
29	特別講座C	2	2前	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)
30	特別講座D	2	2後	一般	選択	共通科目カリキュラムの見直しにより、本年度の開講を見合わせた(28)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目はいずれも選択科目であるため、在学生を含め卒業要件上の支障はない。
 また、学生には「学生要覧」やオリエンテーションにおいて十分な周知を図っている。(27)
 未開講科目はいずれも選択科目であるため、在学生を含め卒業要件上の支障はない。
 また、学生には「学生要覧」やオリエンテーションにおいて十分な周知を図っている。(28)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	30	=	0.12
設置時の計画の授業科目数の計	258		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	64,971㎡	0㎡	0㎡	64,971㎡				
	運動場用地	9,608㎡	0㎡	0㎡	9,608㎡				
	小 計	74,579㎡	0㎡	0㎡	74,579㎡				
	そ の 他	6,645㎡	0㎡	0㎡	6,645㎡				
	合 計	81,224㎡	0㎡	0㎡	81,224㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	19,392㎡ (19,392㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	19,392㎡ (19,392㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	ラーニング・commons を新設し、同フロア に演習室を7室新設 (27)			
	29室	13室 6室	4室	4室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	人間科学部キャリア英語学科		10 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
	人間科学部 キャリア英語学 科	536,312 [120,261] (541,535 [120,352]) (535,912 [120,211])	7,270 [942] (7,262 [936])	10 [5] (0 [0])	17,500 (17,713) (17,484)	— (—)	— (—)		
	計	536,312 [120,261] (541,535 [120,352]) (535,912 [120,211])	7,270 [942] (7,262 [936])	10 [5] (0 [0])	17,500 (17,713) (17,484)	— (—)	— (—)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	備 考					
	2,029㎡ 2,681㎡	129 221	299,000	図書館棟2階をラー ニング・commonsに改 修したため(27)					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	2,171㎡	テニスコート							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	予算配分の変更 (28)
		教員1人当たり研究費等	450千円	350千円 450千円	図書購入費	3,000千円	3,000千円	3,000千円	
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	
	学生1人当 り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,400千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

5 教員組織の状況

<人間科学部 キャリア英語学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	Peter Duppenhaler (65)	平成27年4月	Intensive Practical English B Introduction to Career English B English Presentation English Discussion 上級英語資格講座A 上級英語資格講座B 上級英語A1 上級英語A2	専任	准教授	Gregory Thomas Rouault (48)	平成27年4月	Intensive Practical English B1 Intensive Practical English B2 Introduction to Career English B1 Introduction to Career English B2 上級英語A1 上級英語A2	平成27年3月Peter duppenhaler教授辞任のため担当者の変更(27)
							後任未定	English Presentation English Discussion 上級英語資格講座A 上級英語資格講座B	3回生配当科目(平成29年度開講)のため後任者の選考中(27)	
専任	教授	河崎 良二 (66)	平成27年4月	Intensive Practical English A Introduction to Career English A 英語資格講座A 英語資格講座B イギリス文学特講	専任	教授	三村 浩一 (63)	平成28年4月	Intensive Practical English A1 Intensive Practical English A2 Introduction to Career English A1 Introduction to Career English A2 英語資格講座B	平成28年3月河崎良二教授定年退職のため担当者の変更(28)
					専任	講師	八野 幸子 (38)	平成28年4月	英語資格講座A	
専任	准教授	近藤 睦美 (41)	平成27年4月	Intensive Practical English A Intensive Practical English D Introduction to Career English A Project-based English A 短期英語研修留学準備講座(英語圏) Career English Skills A Career English Skills B 英語学研究 早期英語教育論 英語カリキュラム・教材研究 ICTと英語教育演習A 演習B 卒業研究	専任	教授	溝手 真理 (52)	平成28年4月	Project-based English A	平成28年3月近藤睦美准教授辞任のため担当者の変更(28)
					専任	教授	三村 浩一 (63)	平成28年4月	短期英語研修	
					専任	准教授	Gregory Thomas Rouault (49)	平成28年4月	留学準備講座(英語圏)	
					専任	講師	八野 幸子 (38)	平成28年4月	Intensive Practical English A1 Intensive Practical English A2 Introduction to Career English A1 Introduction to Career English A2	
					兼任	講師	近藤 睦美 (42)	平成28年4月	ICTと英語教育	
					兼任	講師	深田 将揮 (39)	平成28年4月	Intensive Practical English D	
							後任未定		Career English Skills A Career English Skills B 英語教育学研究 早期英語教育論 英語カリキュラム・教材研究 ICTと英語教育演習A	

									演習B 卒業研究	4回生配当科目（平成30年度開講）のため後任者の選考中（28）
専任	教授	小林 Jeanette Marie (30)	平成27年4月	Intensive Practical English B Introduction to Career English B 短期英語研修 English Presentation English Discussion 上級英語B1 上級英語B2	専任	准教授	Gregory Thomas Rouault (49)	平成28年4月	Intensive Practical English B1 Intensive Practical English B2 Introduction to Career English B1 Introduction to Career English B2	平成28年3月小林 Jeanette Marie教授辞任のため担当者の変更（28） 「短期英語研修」は他に担当教員が2名いるため、支障はない。
					兼任	教授	南 比佐夫 (63)	平成28年4月	上級英語B1 上級英語B2	
							後任未定		English Presentation English Discussion	
専任	教授	飛河 智生 (52)	平成27年4月	生活設計論	専任	教授	彭 佳紅 (60)	平成28年4月	生活設計論	時間割編成上の都合による担当者変更（28）
兼任	講師	道中 博司 (44)	平成27年4月	Intensive Practical English C	兼任	講師	深田 將揮 (39)	平成28年4月	Intensive Practical English C	担当者退任のため担当者変更（28）
兼任	講師	勢力 世津子 (41)	平成27年4月	ホスピタリ ティー入門	兼任	講師	森本 由起子 (46)	平成28年4月	ホスピタリ ティー入門 観光サービスビ ジネス	担当者退任のため担当者変更（28）
専任	教授	溝手 真理 (52)	平成28年4月	観光サービスビ ジネス						時間割編成上の都合による担当者変更（28）
兼任	講師	坂元 晶子 (49)	平成28年4月	ビジネスマナー 入門	兼任	講師	佐井 由香 (51)	平成28年4月	ビジネスマナー 入門	担当者就任辞退のため担当者変更（28）
兼任	講師	宮崎 晶行 (64)	平成28年4月	労働法基礎	兼任	講師	堀内 庸行 (47)	平成28年4月	労働法基礎	時間割編成上の都合による担当者変更（28）
兼任	講師	小南 真純 (54)	平成28年4月	エアラインサー ビスビジネス論	兼任	講師	吉川 紀子 (60)	平成28年4月	エアラインサー ビスビジネス論	担当者就任辞退のため担当者変更（28）

<共通科目>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	溝手 真理 (51)	平成27年4月	世界の児童文学	兼任	教授	横川 寿美子 (62)	平成27年4月	世界の児童文学	担当コマ数増により、担当者を変更（27）
兼任	教授	南 比佐夫 (62)	平成27年4月	上級英語A1 上級英語A2 TOEIC準上級1 TOEIC準上級2	兼任	講師	Greg Wishart (55)	平成27年4月	上級英語A1 上級英語A2	担当コマ数増により、担当者を変更（27）
					専任	准教授	近藤 陸美 (41)	平成27年4月	TOEIC準上級1 TOEIC準上級2	担当コマ数増により、担当者を変更（27）
兼任	准教授	小田 秀明 (58)	平成27年4月	外国の文学	兼任	教授	禹 朋子 (50)	平成27年4月	外国の文学	担当コマ数増により、担当者を変更（27）
専	教授	清田 治史 (67)	平成27年4月	文章表現講座Ⅰ 人間と文化F 現代を読むⅠ 現代を読むⅡ	兼任	講師	加畑 公一郎 (67)	平成27年4月	文章表現講座Ⅰ	清田 治史教授退任のため平成27年4月より担当者の変更（27）
					兼任	教授	吉川 康夫 (65)	平成27年4月	現代を読むⅠ	
							後任未定		人間と文化F 現代を読むⅡ	
兼任	教授	中野 秀男 (67)	平成27年4月	情報活用F	兼任	准教授	小松 久美子 (53)	平成27年4月	情報活用F	担当コマ数増により、担当者を変更（27）
兼任	講師	任 炫樹 (42)	平成27年4月	韓国語ⅠB1 韓国語ⅠB2	兼任	講師	全 敏紀 (36)	平成27年4月	韓国語ⅠB1 韓国語ⅠB2	担当コマ数増により、担当者を変更（27）
兼任	講師	池田 実和 (46)	平成27年4月	健康スポーツ学 A 健康スポーツ学 B スポーツ学C スポーツ学D	兼任	講師	市川 智久 (54)	平成27年4月	健康スポーツ学 A 健康スポーツ学	就任辞退による担当者の変更（27）
					兼任	講師	河上 俊和 (36)	平成27年4月	スポーツ学C スポーツ学D	就任辞退による担当者の変更（27）
兼任	講師	伊藤 景子 (53)	平成27年4月	文章表現講座Ⅰ	兼任	講師	杉山 知之 (68)	平成27年4月	文章表現講座Ⅰ	時間割編成上の都合による担当者変更（27）
兼任	講師	河上 与志夫 (81)	平成27年4月	宗教学2	兼任	講師	長谷川 雄高 (33)	平成27年4月	宗教学B	就任辞退による担当者の変更（27）
兼任	講師	清水 守拙 (52)	平成27年4月	宗教学1	兼任	講師	長谷川 雄高 (33)	平成27年4月	宗教学A	就任辞退による担当者の変更（27）
兼任	講師	鈴木 研二 (55)	平成27年4月	フランス語ⅠB1 フランス語ⅠB2	兼任	講師	門脇 伸二 (53)	平成27年4月	フランス語ⅠB1 フランス語ⅠB2	時間割編成上の都合による担当者変更（27）

兼任	講師	辻坂 伸子 (67)	平成27年4月	中級英語C1 中級英語C2	兼任	教授	南 比佐夫 (62)	平成27年4月	中級英語C1 中級英語C2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (27)
兼任	講師	前垣 和義 (68)	平成27年4月	大阪学	兼任	講師	橋爪 節也 (57)	平成27年4月	大阪学	前垣和義講師退官のため担当者の 変更
兼任	講師	前田 真彦 (51)	平成27年4月	韓国語 I A1 韓国語 I A2	兼任	講師	古川 武志 (43)	平成27年4月	大阪学	講義は2名の講師によるオムニバ ス形式で実施 (27)
兼任	講師	三村 浩一 (61)	平成27年4月	中級英語D1 中級英語D2	兼任	講師	崔 水晶 (29)	平成27年4月	韓国語 I A1 韓国語 I A2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (27)
兼任	講師	李 嘉永 (41)	平成27年4月	国際機構と世界	兼任	講師	河田 康裕 (56)	平成27年4月	中級英語D1 中級英語D2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (27)
兼任	講師	Greg Wishart (55)	平成27年4月	上級英語D1 上級英語D2	兼任	講師	則武 立樹 (32)	平成27年4月	国際機構と世界	就任辞退による担当者の変更 (27)
兼任	講師	加畑 公一郎 (67)	平成27年4月	文章表現講座 I	兼任	教授	南 比佐夫 (62)	平成27年4月	上級英語D1 上級英語D2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (27)
兼任	講師	日野 謙一 (68)	平成27年4月	人権論	兼任	講師	安村 俊文 (67)	平成28年4月	文章表現講座 I	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
兼任	講師	土井 修市 (67)	平成27年4月	生命科学と倫理 生物学	兼任	教授	薬師院 仁志 (54)	平成28年4月	人権論	担当者退任のため担当者変更 (28)
兼任	講師	市川 智久 (54)	平成27年4月	健康スポーツ学 A	兼任	講師	千葉 惇 (58)	平成28年4月	生命科学と倫理	担当者退任のため担当者変更 (28)
兼任	講師	河上 俊和 (36)	平成27年4月	健康スポーツ学 スポーツ学C スポーツ学D	兼任	講師	齋藤 昭夫 (67)	平成28年4月	生物学	担当者退任のため担当者変更 (28)
兼任	講師	上島 辰行 (66)	平成27年4月	キャリア入門 キャリア基礎 I キャリア基礎 II キャリア実践	兼任	講師	新野 弘美 (53)	平成28年4月	健康スポーツ学 A 健康スポーツ学 B スポーツ学C スポーツ学D キャリア入門 キャリア基礎 I キャリア実践	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
兼任	講師	武田 雅史 (51)	平成27年4月	初級英語A1 初級英語A2	兼任	講師	飛河 智生 (53)	平成28年4月	キャリア実践	担当者退任のため担当者変更 (28)
兼任	講師	香林 綾子 (35)	平成27年4月	初級英語B1 初級英語B2 中級英語B1 中級英語B2	兼任	講師	遠藤 正彦 (57)	平成28年4月	キャリア基礎 I	担当者退任のため担当者変更 (28)
兼任	講師	Gordon Maclaren (53)	平成27年4月	初級英語D1 初級英語D2	専任	教授	三村 浩一 (63)	平成28年4月	初級英語A1 初級英語A2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
兼任	講師	Christopher Olszyk (60)	平成27年4月	中級英語A1 中級英語A2	専任	講師	八野 幸子 (38)	平成28年4月	初級英語B1 初級英語B2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
兼任	講師	辻坂 伸子 (67)	平成27年4月	中級英語C1 中級英語C2	専任	教授	溝手 真理 (52)	平成28年4月	中級英語B1 中級英語B2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
兼任	講師	John Burnett (66)	平成27年4月	English Language Skills中級1 English Language Skills中級2	兼任	講師	香林 綾子 (36)	平成28年4月	初級英語D1 初級英語D2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
兼任	講師	小田 秀明 (58)	平成27年4月	TOEIC中級1 TOEIC中級2	兼任	講師	小田 秀明 (59)	平成28年4月	中級英語A1 中級英語A2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
兼任	講師	Greg Wishart (55)	平成27年4月	上級英語A1 上級英語A2 上級英語C1 上級英語C2	兼任	講師	河田 康裕 (57)	平成28年4月	中級英語C1 中級英語C2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
兼任	講師	山本 博志 (66)	平成27年4月	ドイツ語 I B1 ドイツ語 I B2	兼任	講師	Anne Wheeldon (63)	平成28年4月	English Language Skills中級1 English Language Skills中級2	担当者退任のため担当者変更 (28)
兼任	講師	土居 三佐子 (52)	平成27年4月	ドイツ語 II A1 ドイツ語 II A2	兼任	教授	三村 浩一 (63)	平成28年4月	TOEIC中級1 TOEIC中級2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
兼任	講師	甲斐 浩一 (53)	平成27年4月	ドイツ語 II B1 ドイツ語 II B2	兼任	講師	Christopher Olszyk (61)	平成28年4月	上級英語A1 上級英語A2 上級英語C1 上級英語C2	担当者退任のため担当者変更 (28)
兼任	講師	励 儲 (52)	平成27年4月	資格中国語 II	兼任	講師	西田 知子 (65)	平成28年4月	ドイツ語 I B1 ドイツ語 I B2	担当者退任のため担当者変更 (28)
専任	教授	彭 佳紅 (59)	平成27年4月	資格中国語 III 資格中国語 IV	兼任	講師	竹内 一高 (43)	平成28年4月	ドイツ語 II A1 ドイツ語 II A2	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
					兼任	講師	三宅 博子 (56)	平成28年4月	ドイツ語 II B1 ドイツ語 II B2	担当者退任のため担当者変更 (28)
					専任	教授	彭 佳紅 (60)	平成28年4月	資格中国語 II	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)
					兼任	講師	神道 美映子 (52)	平成28年4月	資格中国語 III 資格中国語 IV	時間割編成上の都合による担当者 変更 (28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
5	2	0	0	7	5	1	1	0	7	5	1	1	0	7
(7)	(1)	(0)	(0)	(8)						[0]	[Δ1]	[1]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
67	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (平成26年6月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	人間科学部キャリア英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成27年度の入試について、入試に関するデータ(オープンキャンパス参加者データ、資料請求者データ、入学者によるアンケートデータ等)を分析し、以下の改善計画を立て、平成28年度入試より随時実施している。 ①本学がターゲットとすべき高校の見直し ②高校訪問数の見直し ③資料請求からオープンキャンパスへの参加、さらに受験、入学に繋げる方策の見直し ④オープンキャンパスの回数、実施する内容、時間などの見直し ⑤入試方法の改善、入試問題選択制の導入、Web出願の導入 ⑥AO入試の改善 ⑦特待生制度の導入 ⑧競合校との差別化とそのPR活動 さらに、在学生に対するアンケート調査を行い、キャリア英語学科の魅力について、再検証し、広報活動の見直しを図っている。具体的には、キャリア英語学科の特色の明確化、高校訪問校の見直し、高校訪問担当者に対する徹底した研修の実施など。一部平成29年度入試に向けた計画もあり対応中である。	適切な定員管理を行うために、キャリア英語学科の定員の削減についての検討、大学全体として、学部・学科の改組・転換を含めて検討し、早急に改善計画案を示すよう検討している。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	既設学部(リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成26年度・27年度の入試について、入試に関するデータ(オープンキャンパス参加者データ、資料請求者データ、入学者によるアンケートデータ等)を分析し、以下の改善計画を立て、平成27年度入試より随時実施している。 ①本学がターゲットとすべき高校の見直し ②高校訪問数の見直し ③資料請求からオープンキャンパスへの参加、さらに受験、入学に繋げる方策の見直し ④オープンキャンパスの回数、実施する内容、時間などの見直し ⑤入試方法の改善、入試問題選択制の導入、Web出願の導入 ⑥AO入試の改善 ⑦競合校との差別化とそのPR活動 さらに、在学生に対するアンケート調査を行い、学科の魅力について、再検証し、広報活動の見直しを図っている。具体的には、リベラルアーツ学科の特色の明確化、高校訪問校の見直し、高校訪問担当者に対する徹底した研修の実施など。一部平成29年度入試に向けた計画もあり対応中である。	適切な定員管理を行うために、リベラルアーツ学科の定員の削減について検討し、早急に定員削減に向けて結論を出す。また、将来に向けては、大学全体として、学部・学科の改組・転換を含めて検討し、早急に改善計画案を示すよう検討している。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間科学部 キャリア英語学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 施設・設備</p> <p>施設・設備については、十分対応できる施設が整備されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Common Room(コモングルーム) ・ 教職支援室 <p>② 管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学評議会及び各学部に教授会を置き、重要事項を審議し運営することが定められている。 	<p>① 施設・設備</p> <p>当初計画のCommon Room(コモングルーム)の充実を図り、図書館棟2階をラーニング・commonsとして改修し、自主学習スペースを拡大した。同時に演習室7室を増設した。教職支援室は、教職実践研究センターとして、機能を拡大し、教員採用試験サポートのほか、各学校、教育委員会との地域連携、教師教育研究を行うセンターとして、拡充した。</p> <p>学校教育法・学校教育法施行規則一部改正に伴い、学長のリーダーシップのもとでの戦略的な大学運営を可能にするための学長の決定事項を定め、教授会の役割を明確にするために学則変更した。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD推進委員会を設置(平成22年4月)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>専任教員によるFD推進委員会が組織され、2ヶ月に一度開催される、自己点検評価委員会開催後に開催している。なお、教員の平均参加率は、60%程度となっている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教授法の改善・向上についての研究および研修に関する事項 ・ 自己点検・評価に関わる事項のうち、授業評価の企画・実施に関する事項 ・ FDの推進に関し、学長が特に諮問した事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピアサポーターの活用 ・ 実験・実習授業について ・ 大学将来構想の構築に向けて ・ C-learning講習会(学生登録、出席の取り方及び管理・レポート提出、相談室利用、アンケート作成、小テスト作成、)
--

- ・学習障害を持った学生への対応
- ・教員相互の授業参観
- ・学生の就業意識に関する調査結果報告会
- ・学ぶキャリア分析会 (27)

- ・ラーニング・コモンズの運用改善
- ・学生就職支援に向けて—大学教職員に求められる意識改革
- ・大学教職員に求められるコンプライアンス
- ・帝塚山学院大学の将来を見据えて、今求められるモノとコト
- ・学生の就活支援「求人ナビ」について
- ・職員夏季研修「発達障害の理解と対応」 (28)

b 実施方法

- ・内部教員および外部講師による研修等、内部教員によるICT活用のための講習会等

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・第1回FD 5/14 教員参加率44.7%
- 第2回FD 7/7 教員参加率73.3%
- 第3回FD・SD 7/24・25 教職員参加率69.2%
- 第4回FD 8/7・8/20・8/21・8/25・8/26・8/28 教職員参加率59.0%
- 第5回SD 9/9 職員参加率92.3%
- 第6回FD 11/27 教員参加率75.0%
- 第7回FD・SD 12/3 教職員参加率52.2%
- 第8回FD・SD 3/30・3/31 教職員参加率88.0% (27)

- ・第1回FD 7/8 教職員参加率53.6%
- SD研修 9/7 職員参加率81.7%
- 第2回FD 10/28 教職員参加率58.2%
- 第3回FD 11/25 教職員参加率55.5%
- 第4回FD 1/27 教職員参加率56.4%
- 第5回FD 3/9 教職員参加率43.6% (28)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ICTを活用した教育改善への取組は継続中である。
- ・実験実習授業の改善への取組は継続中である。
- ・学生による授業評価アンケートについては、コメント記入したものをWeb上で学生にも公開。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・「学生による授業評価」を実施している。実施時期は、前期および後期

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員に評価結果を返却し、評価結果に対する教員のコメントを記入。Web上に公開。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
別紙のとおり
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・平成28年7月 公表予定。
- b 公表方法
・自己点検・評価報告書を刊行し、教育関係機関および希望があった学生に各1冊を配布する。
・大学ホームページ上に公開予定（平成28年7月末を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
・平成29年度に評価機関（財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定。
なお、すでに平成22年度に評価機関（財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受審し、日本高等教育評価機構より、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定されている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 無) カリキュラム等一部公表
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成28年 7月 1日) 予定